



## ○ 指導上のポイント

### 「書くこと」において、「推敲」する際の系統性を意識した指導（指導事項）

- 【低学年】・文章を読み返す習慣をつけること。  
・間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。
- 【中学年】・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えること。
- 【高学年】・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

### 段落を意識して書く指導

- 段落には、改行によって示されるいくつかの文のまとまりである**形式段落**と、その形式段落のいくつかの意味のつながりの上でひとまとまりになった**意味段落**とがある。
- 内容のまとまりで段落をつくる。段落は始めの一字分を下げて書き始める。
- 右図のように、段落に分かれていない文章と段落に分けた文章を視覚的に比較して、気づいたことを話し合わせるとよい。
- 「書くこと」の授業では、内容の中心が明確か、内容のまとまりで段落が分かれているかなど、児童自身やペアで見合いながら、書いた文章について振り返りをさせるとよい。

く	調	女	わ	●	の	る	の	わ	●
さん	べる	の子	わたし	段落に分けた文章	の	方	子	わたし	段落に分かれていない文章
の	方	について	は、		の	ほう	につ	は、	
つ	ほ	いて	パ		つ	は、	いて	パ	
て	う	て	ケ		て	は、	て	ケ	
い	は	調	ツ		い	は、	調	ツ	
る	は	べ	を		る	は、	べ	を	
本	月	たい	持		本	月	たい	持	
で	の	です	っ		で	の	です	っ	
調	こ	が	て		調	こ	が	て	
べ	と	た	い		べ	と	た	い	
ま	が	か	る		ま	が	か	る	
す	た	た	い		す	た	た	い	
。	が	い	る		。	が	い	る	



段落が分かっていたほうが読みやすいね。

文章がつながっていると、読みにくいよ。



### 条件に沿って書く指導

- 下記のような例題や県学調復習シート等を活用し、条件に合わせて文章を書かせる。さらに書いた後、条件のとおり書けているかを項目ごとにチェックさせるとよい。

## ○ 復習シート・コバトン問題集等の活用



【出典】  
平成25年度  
「3つの達成目標  
検証問題」  
読む・書く小3


4行

- ② クラスの友だちに、すきな乗り物（電車・バス・船・飛行機・自転車・一輪車など）を文章に書いて、しようかします。次のことに注意して書きましょう。
- ※ 注意すること
- ◎ 題名や名前は書かないで、本文から書きはじめましょう。
  - ① 二つの段落で書きましょう。
  - ② 一つめの段落には、すきな乗り物を書きましょう。
  - ③ 二つめの段落には、すきなわけや、乗っているときの気持ちなどを書きましょう。
  - ④ 句点（。）や読点（、）に気をつけて、四行より多く書きましょう。

○ 調査問題

16

田中さんの学校では、地域で働いている人にインタビューをすることになりました。田中さんのグループは、パン職人の山口さんにインタビューすることになり、事前に質問する内容を話し合っています。次の【話し合いの様子】と【インタビュー用のメモ】を読んで、あとの問いに答えましょう。(インタビュー用のメモは紙面の都合上省略)

【話し合いの様子】

田中：今日は、前回の話し合いに続いて、質問したいことを話し合いました。前回は、「パン屋さんになろうと思った理由をたずねる」ということが決まりました。ほかにはありますか。

大川：私は、朝は何時から働いているのか聞いてみたいです。朝学校に行くとき、パン屋さんの前を通ると、もう職人さんたちがいっしょけんめい働いているのを見かけるからです。

北島：いいですね。私は、おいしいパンを作るためのコツがあったら教えてもらいたいです。

小林：せっかくパン屋さんに質問できる機会なので、パンにどのような種類があるのかも聞いてみませんか。

田中：ここまでで、朝は何時から働いているのか、上手にパンを作るために気を付けること、パンの種類、という意見が出ました。

～ 話し合いは続く ～

- (2) ①～④までで、朝は何時から働いているのか、上手にパンを作るために気を付けること、パンの種類、という意見が出ました。とありますが、田中さんのこの発言には、どのような効果がありますか。もっともふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。
- 1 それまでに出た意見をまとめることで、みんなが話し合った内容を理解しやすくしている。
  - 2 山口さん自身が質問する内容を新たに提案することで、ほかの人も発言しやすくしている。
  - 3 前回の話し合いであがった意見を確認し、話し合いの中心となる内容を確かめている。
  - 4 自分が良いと思った意見をあげること、話し合いを思い通りの方向にすすめている。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 司会者の発言の効果として、適切なものを選択する。

【問題の趣旨】 司会者の役割を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	2	3	4	0 無解答
反応率	43.4%	7.5%	14.2%	4.9%	30.0%

○ ③については、話し合いの最初に「前回の話し合いに続いて…」という発言があることから、解答していると考えられる。話し合いの様子の内容理解が不十分であったのではないか。

○ 無解答が30%と選択式にしては高い。司会の役割について考える機会が少ないからではないか。

## ○ 指 導 上 の ポ イ ン ト

### 話し合いのポイントを意識させて、共有化するための指導

- ★低学年：互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。
- ★中学年：目的や進め方を確認し、**司会などの役割**を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

### ★高学年 よい話し合いに必要なポイント

#### 【互いの立場を明確にする】

- 話題に対してどのような考えをもっているかを明らかにする。
- 異なる立場からの考えを聞く。 ○理由をたずねあう。

#### 【意図を明確にする】

- 話し合いを通して何を達成しようとするのかを明確にする。
- どのように話し合うのか、方法を明確にする。○話し合いの冒頭で意見を述べるなども重要。

#### 【計画的に話し合う】

- 話し合いの内容、順序、時間配分を事前に検討する。
- 意見を一つにまとめるのか、互いの考えを広げるためかなど、目的や方向性を検討する。

#### 【考えを広げたりまとめたりする】

- 互いの意見の共通点、相違点、利点、問題点等をまとめる。
- 「～という意見もあったが」「～という考えもあるけれど」などの表現の活用。



主体的、対話的で  
深い学びの視点

### よい話し合いのイメージを共有化するための指導

①話し合いのモデル（上記のポイントを意識）を作成し、共有化する。

※モデル作成は学年の教員全員で作ることで、教師間の「よい話し合い」のイメージの共有にもつなげることができる。

②子供たちの**実際**の話し合いを記録（録音、録画、書き起こし等）して視覚化することにより、グループ等で話し合いの良かったところ、改善すべきところを検討させる。〔継続的な実施〕

○ 視覚化した【話し合いの様子】についての検討



この話し合いではどのようなところがよかったですでしょうか？



大川さんは、理由をはっきりさせて意見を発表できています。

司会者の田中さんは今日の話し合いの内容をはっきりさせています。



## ○ 復 習 シ ー ト ・ コ バ ト ン 問 題 集 の 活 用

【出典】  
復習シート  
5年生・国語  
レベル8  
話すこと・聞くこと／書くこと(平成28、29作成)  
2 (1)

- 1 早く話し合いを終わらせるためにみんなの発言をたしかめたもの。
- 2 司会者が自分のやりたい遊びについて意見を述べたもの。
- 3 たくさん出された意見をみんなが忘れないようにくりかえしたものの。
- 4 出された意見を、内容によって整理し、考えやすくしたものの。

【話し合いの一部】は省略

2 次の【話し合いの一部】は、「クラスの中をもっとよくしよう」というテーマで、クラスで話し合っている様子です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

○ 調査問題

- 3 1  
注ぐ 売る
- 4 2  
しぼる 焼く

油を  
□。

(2) 用事のとちゅうなのに、友達の家で

10 次の(1)～(4)の文の□に入る  
もっともふさわしい言葉を、あとの  
1～4の中からそれぞれ一つ選びま  
しょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題概要】 文中の空欄にあてはまる適切なことわざ・慣用句の一部を選択する。  
【出題の趣旨】 ことわざ・慣用句の意味を理解し、適切に使う。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	2	3	4	0 無解答
反応率	57.1%	4.2%	34.7%	3.3%	0.7%

- 正答率は57.1%であり、4つの選択肢の中では選択された割合が最も高い。
- 誤答のうち、「油を注ぐ」と解答した割合が34.7%と最も高く、次いで「油を焼く」が4.2%、「油をしぼる」が3.3%となっている。
- 誤答の主な原因は、①そのことわざや慣用句自体を知らないこと、②ことわざや慣用句の意味を正しく理解していないこと、③「用事のとちゅうなのに」という文脈を読み取っていないことが考えられる。誤答で一番多かった「油を注ぐ」を選択した理由としては、「油」という語句が含まれることわざ・慣用句として理解していたものが「注ぐ」であり、文脈と慣用句の意味の整合性は図らなかつたと思われる。

## ○ 指導上のポイント

### ことわざや慣用句についての知識を増やすための指導

<学習活動例> ○ことわざ（慣用句）カルタを作ろう。



この活動を通して、ことわざ（慣用句）の知識を増やし、意味を正しく理解できるようにしましょう。児童の実態やねらいに応じて、遊び方を工夫できます。

取り札（表）

ことわざと  
イラスト  
（または画像）

児童が動作化した画像にすると、さらにことわざへの理解が深まります。

ねらい	ことわざに親しむ	ことわざの意味を理解する	ことわざの用法を理解する
取り札	表	表	裏
読み手	ことわざを読み上げる	ことわざの意味を読み上げる	ことわざの意味を読み上げる
札の獲得後	読み手がことわざの意味を読む	取り手がことわざの用例を読む	

用例  
ことわざの

意味  
ことわざと

取り札（裏）

読み札

### ことわざや慣用句の意味を理解し、適切に活用させるための指導

<学習活動例> ○ことわざ（慣用句）劇を考え、クイズとして友だちに紹介しよう。

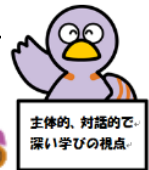


この活動を通して、ことわざ（慣用句）の意味を理解し、適切に活用できるようにしましょう。ことわざの用例を参考にしながら劇を考えてクイズとして出題することで、実感を伴ってことわざの意味を理解することができます。



どんな劇にしたら、「猿も木から落ちる」の意味がしっかり伝わるかな。

同じ意味をもつことわざに「河童の川流れ」っていうのがあったよ。他にもないか、本で調べて確認してみよう。



主眼的、対話的で、深い学びの視点。

<日常生活において> 実感を伴ってことわざ・慣用句を理解し、活用する場を増やす。

朝の会のスピーチで

日記を書く時に

教室に掲示

※ 故事成語や四字熟語など、ことわざや慣用句以外にも広げて活動することも考えられる。

## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】復習シート  
6年生・国語 レベル6・7  
4言語事項  
(漢字や文法など)

【活用の場面】  
・ことわざ・慣用句に関する  
知識を確認する場面

（ ）に同じ漢字を当てはめると、慣用句やことわざになります。当てはまる漢字一字を書きましよう。

・ （ ）をはさむ

・ （ ）はわざわいのもと

・ 開いた（ ）がふさがない

・ （ ）がすべる

○ 調査問題

9  
次の(1)～(3)の文では、( )の中の1～4の  
どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

(1) 「集中」の対義語は、  
1 困難      2 退屈たいくつ  
3 安心      4 分散

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 文中にあてはまる適切な対義語を選択する。  
【出題の趣旨】 対義語を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	1	2	3	④ 正答	0 無解答	その他
反応率	11.4%	46.9%	6.0%	34.8%	0.9%	0.0%

- 正答率は34.8%である。
- 誤答のうち、「退屈」と解答した割合が46.9%と最も高く、次いで「困難」が11.4%、「安心」が6%となっている。
- 解答で最も多かった「退屈」という誤答の主な原因は、日常生活において、例えば、授業中などの場面において、「(物事に)集中している状態」の反対の意味で「退屈している状態」と感覚でとらえている生徒が多いことにある。日常的に用いている表現の中には、文脈としては反対の意味を表していても、言葉を抜き出して比較してみると、その言葉自体が対義語の関係にならない表現もある。言語に対する正誤・適否・美醜などについての感覚も大切にしつつ、言葉がもつ本来の意味を正しく理解し、判断できるようにさせたい。

## ○ 指導上のポイント

### 語彙学習としての体系的な対義語の指導

○対義語は、いくつかの種類に分類できることを押さえることで、体系的に指導することができる。  
 (例えば、「互いに補う関係」(「あたり」と「はずれ」など)、「状態の変化に関する関係」(「結ぶ」と「ほどく」など))

違う視点(立場)から名付けられた対義語には、どのようなものがあるでしょうか。

売ると買う です。

貸すと借りる です。

上がる と 下がる  
 入る と 出る

この対義語はどんな関係になっているでしょうか。

逆の方向に移動する関係かな。

### 間違いやすい対義語で意味を正しく理解することを実感させる指導

○「類似問題」(下記)のような間違いやすい対義語を取り扱うことで、日常生活に即して言葉の意味を正しく理解することの重要性を実感させるようにする。

「熱中」の対義語は、次のうちどれでしょうか。普段の生活を思い浮かべて考えてみましょう。

①平凡 ②退屈  
 ③夢中 ④寒中

「野球に熱中した毎日」って言うから、その反対と考えると「平凡な毎日」。対義語は「平凡」かな。

参考 **語彙の体系的な指導のために**

語彙のなかの一つに「対義語」があるということをつまみえることで、「対義語」だけを取りたてて指導したり、他のものと組み合わせて指導したりすることもできる。

語彙

類義語 対義語

和語・漢語・外来語 同音異義語

上位語・下位語 複合語 多義語

接頭語・接尾語 など

## ○ 類似問題

である。

3 結果 4 敗北

(1 理由 2 失敗)

(1) 「原因」の対義語は

1 次の文では、( ) の中の1〜4のどれが最も適切ですか。一つ選びなさい。



○ 調査問題

東京五輪2020  
「中高生ボランティア」としてできること

中高生のボランティア参加が可能に？

○2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会が、「中高生<sup>おたく</sup>枠

のボランティアを設ける方針を決定

○18歳以上を対象とした一般ボランティアは募集中<sup>ほしゅう</sup>

(参考) 一般ボランティアの参加条件

- ・研修参加・参加日数など
- ・語学の能力は必要なし
- ・交通費相当のお金が支給される

中高生ボランティアの活動内容

検討されている活動内容の例 (一部)

- 競技会場の内外での観客案内
- 試合の簡単なサポート
  - ・サッカーやテニスの試合のボール拾い
  - ・バスケットボールの試合のモップ掛け
- レクリエーション活動
  - ・入場待ちの観客に向けた楽器演奏

※一般ボランティアと比べ、活動内容は限られる予定

ボランティアに参加することで期待できること

- オリンピックの運営に携<sup>たず</sup>わることができる
- 外国の人や、ほかのボランティアの人と交流できる
- もしかしたら試合を生でみられるかも・・・？

これから「東京オリンピックでの中高生ボランティア」について調べたことを発表します。

Aを見てください。東京オリンピックでは、18歳以上のボランティアとは別に、中高生のボランティアを募集することが計画されています。

それでは、具体的にどのようなボランティア活動ができるのでしょうか。これについては、Bを見てください。私たち中高生ができる活動として、たとえば、観客の案内や試合の手伝い、楽器演奏が予定されています。

私は、こうした活動内容を知ったからこそ、ボランティアに参加してみたいと思いました。18歳以上のボランティアと比べると種類は限られてしましますが、それでも様々な活動ができて、面白そうだからです。

ちなみに、学校でアンケートを取った結果、東京オリンピックに中高生ボランティアとして「参加したい」「できれば参加したい」人は少ないようです。その理由を見てみると、「自分たちに何ができるかわからないから」とあります。しかし、ボランティアの具体的な活動を知れば、自分にもできることがある、と私と同じように興味を持つ人が増えるのではないかと考えられます。

ここまでで、何か質問はありますか。

僕は部活動でテニスをやっている  
ので、テニスの手伝いをしてみたい  
のですが、ボール拾い以外にも手伝  
えることはあるのでしょうか。

募集が始まるのが楽しみです。ね。  
ボランティア活動の内容について、  
希望を出すことはできるでしょ  
うか。

岡田さん

山口さん

(3) 岡田さんと山口さんに続いて、東京オリンピックの中高生ボランティアについて、あなたが田中さんに質問するとしたら、どのような質問をしたいですか。【田中さんのポスター】や【発表場面の一部】の内容に触れながら、あとの条件1〜条件3にしたがつて書きなさい。  
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり、行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。
- 条件2 一段落目には、中高生ボランティアについて、岡田さんと山口さんに続けて質問したいことを、実際に話すように書くこと。
- 条件3 二段落目には、その質問をした理由を、【田中さんのポスター】や【発表場面の一部】の内容に触れて書くこと。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 質問したい内容を書き、その質問をしたい理由を、内容に触れて二段落構成で書く

【出題の趣旨】 場面に即した適切な質問をする

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	2 段落のみ	3 形式	4 敬体	5 内容	9 不十分	0 無解答
反応率	39.0%	5.1%	2.0%	0.3%	9.9%	20.7%	22.9%

○類型⑨の半数は理由が示せなかった。また、類型②の段落分けをしていない生徒も、質問だけで理由を示せていない。

○誤答の中では、無解答の生徒が一番多かった。自分の考えを書き表す学習活動をする必要がある。

○条件作文などの学習を計画し、書く学習の機会を意図的に増やす必要がある。

## ○ 指導上のポイント

### 話を聞き、話題に沿って適切に質問する力をつける活動

#### 〈学習活動例〉

○1年スピーチをする：部活動を紹介しよう



スピーチを聞いて、もっとくわしく知りたいと思ったことを質問しましょう。



部活動に入部して、最初の大会は、5月15日にあります。3年生は最後の大会です。その日のために、部員は一生懸命練習をしています。・・・

今度の大会は、1年生も出場するのですか？



どのようなところに力を入れて、練習をしたのですか？



※ 指導のポイント 話す側は、相手意識をもち、聞く側は、目的をもって聞くようにします。

### 根拠を明確にして、話したり、書いたりする力をつける活動

○全教科を通して、自分の考えを話したり、書いたりするときは、理由や根拠を明確にします。

自分の考え「わたしは、～と思います。」

理由・根拠「なぜなら、～だからです。」

#### 〈学習活動例〉

道徳科で



この時の、主人公の気持ちは？

彼は、正直に伝えようとしたと思います。  
なぜなら・・・



学級活動で



体育祭の振り返りを書いてみましょう。

今度の体育祭では、クラスの絆が深まりました。  
理由は・・・

国語科で学習したことを、国語の時間だけでなく、全ての教科等で指導するカリキュラム・マネジメントの視点が大切です。

## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】復習シート  
令和元年度  
第2学年  
「書くこと」  
レベル9～11

条件1 二段落構成で、六行以上九行以内で書くこと。  
条件2 一段落目には、よりよいと思う意見を、案①と案②から選び一つ書くこと。  
条件3 二段落目には、そう考える理由を書くこと。

案① クラスの中でおすすめの本を紹介する  
案② 読んだ本の数を競うコンテストをする

2 あなたのクラスで学校図書館の利活用を活性化するために、次の二つの案が出されました。二つの案のうち、一つにしぼって取組を行うことになりました。  
あなたはどちらの意見がよりよいと思いますか。あなたの対場を明らかにして、その理由をあとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。なお読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり、行間に加えたりしてもかまいません。

○ 調査問題

12

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

七歳の王戎<sup>おうじゆう</sup>が他の子どもたちと遊んでいたところ、多くの実をつけた李<sup>すもも</sup>の木が道ばたにあるのを見つけた。

諸児競ひ走りて之<sup>これ</sup>を取るに、唯戎<sup>ただ</sup>のみ動かさず。①人問<sup>ひとと</sup>之<sup>これ</sup>。答へて曰く、「樹、道辺に在りて子多<sup>み</sup>し。此<sup>これ</sup>必ずや苦き李ならん」と。②之<sup>これ</sup>を取るに信<sup>まこと</sup>に然<sup>しか</sup>り。

(『世説新語』による。)

(2) ②之<sup>これ</sup>は何を指しますか。次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 王戎
- 2 他の子どもたち
- 3 李の木
- 4 李の実

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題内容】 漢文中の指示語の内容を選択する。

【作成の趣旨】 漢文中の指示語の内容を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	1	2	3	④ 正答
反応率	9.6%	10.7	14.7%	64.3%

○ 正答率は64.3%であり、およそ三分の一の生徒が誤答を選んでいる。

○ 誤答のうち「3 李の木」が誤答全体の14.7%と最も多く、次いで「2 他の子どもたち」が10.7%、「1 王戎」が9.6%である。これらの誤答の主な原因は、文章の話の流れ（文脈）と内容の理解が十分でないこと考えられる。誤答の傾向として、直前にきていることばを指示する語の内容と読み違えている場合と、動作主として読み違えた場合とがあることが推察される。

この問題のように、歴史的な知識を手掛かりに内容を正しく読みとめることは、教科横断的な資質・能力として今日的に重視されており、確実に定着させたい。

○ 指導上のポイント

多様な読み方を通して、漢文への理解を深めさせる指導

- ① 多様な読み方で、漢文に親しむ。  
追い読み、一斉読み、一文読み、分担読み、唇読等のねらいを定め、目的意識をもたせて、音読させる。
- ② 漢文の中の動作や指示する語句について発問し、漢文の内容理解につなげる話し合い活動をさせる。(右の「過ちて…」)
- ③ 「フラッシュカード」の要領で訓読文を書き下し文にして音読する。慣れてきたら、生徒同士で行う。間違えたところや苦手なところを指摘し合うなど、学び合い活動につなげる。

是れ：「過ちて改めざる」であるという意味である。

過ちて改めざる、是れを過ちと謂ふ。

春眠暁を覚えず。

⇔

春眠不覚暁は？

②の例

③の例


日常生活で、漢文の学習を生かす指導

【系統的指導】(小学校で学んだ「論語」や「故事成語」等の内容を例に)


生徒が「論語」や「故事成語」等の場面を表した日めくりカレンダーなどをつくる。


例 「友達に嫌がらせをしている絵」を日めくりカレンダーなどの表面に書く。

→「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」を裏面や、表面の下部等を書く。



今日のカレンダーの絵を漢文で表すと？





己の欲せざるところ、人に施すことなかれ

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】  
復習シート  
(H28・29 作成)  
中学校3年生  
国語 7 (3)

① 線部①「向かふ」③「思はむや」を、全てひらがなで、現代仮名づかいになおしましょう。

② 線部②「初心の人」とは誰をさしますか。文中から書き抜きましよう。

③ 線部④「これ」とは何をさしますか。文中から書き抜きましよう

ある人、弓射ることを習ふに、諸矢をたばさみて、的に向かふ。師の言はく、「初心の人、二つの矢を持つことなかれ。後の矢を頼みて、初めの矢になほざりの心あり。毎度、ただ、得失なく、この一矢に定むべしと思へ。」と言ふ。わづかに二つの矢、師の前にて、一つをおろかにせんと思はんや。懈怠の心みづから知らずといへども、師、これを知る。この戒め、万事わたるべし。

【7】古文の内容を読み取り、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題  
次の文章を読み、あとの問いに答えましよう。レベル8・10。